事業番号 2021 - 国交 - 新22 - 0023

			<u> </u>	ロクケーロサイ		業者		2021	- 国交		22 - 002 六海少	23			
- Alle An	10-1				丁以			ーシート	(国土	交通省)			
事業名	ポストコロナを見打					担当音		観光庁 観光資源課				或責任者 			
事業開始年度	令和4年度		終了)年度	終了予定	なし	担当	課室	観光地域振			課長 河南				
会計区分	一般会計														
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	観光立国推進基	本法第13第	€及び第23	3条		関係計画、		観光ビジョ: 未来投資単 経済財政選	战略	グラム の基本方針					
主要政策・施策	観光立国、地方范	創生				主要	経費	その他の事項経費							
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	新型コロナウイル え、国内・国外を問 るニーズの取り込	引わず、これ みに万全を す	までの短期 朝す。	滞在者だけで	はなく	、中長期滞	在者や原	豆復継続した来	訪者などの新	fたな市場の開	括や、新たに	関心の高まってい			
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	〇ポストコロナを 〇将来にわたって									可けた新たな仕	掛けづくりに	対する支援			
実施方法	委託•請負														
			平成	30年度	ŕ	令和元年度	ŧ	令和2年度	Ŧ	令和3年度	令和	和4年度要求			
	当初		-		-		-		-		450				
	予算 前年度から繰越し			-		-		_		_	-				
予算額・	の状況翌年度	〜繰越し		_		-		-		-					
執行額 (単位:百万円)	予備	i費等		-		-		-		-					
(+4.131)	Ī	! †		0		0		0		0		450			
	執行額		0		0		0								
	執行率(-		-		-							
	当初予算+補正 る執行額の割・		-		-		-								
	歳出予算	目	令和3年	度当初予算	令	和4年度要	求			主な増減理	由				
	観光振興訓	司査費 	-			443									
令和3·4年度 予算内訳	職員等的	養	-			4									
(単位:百万円)	委員等的	養	-			2									
	諸謝金	Ž	-			1									
	計		-			450									
- A = = = = *	定量的な成	果目標		成果指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 4 年度	目標最終年度 年度			
成果目標及び成果実績		+ 声 ** の	古光羽左	中にわいて	± ₩	成果実績	%	-	-	-					
(アウトカム)	モデルツア一造 事業継続率50%			度において、 事業数/事業		目標値	%	-	-	_	50				
						達成度	%	-	-	_					
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	観光庁調べ														
	定量的な成	果目標		成果指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 4 年度	目標最終年度 年度			
成果目標及び	しおと アキー	明士 7 中中	実現可能	性調査やプラ	ラン	成果実績	%	-	-	_					
成果実績	レガシー形成に 可能性調査やプ	ラン作成	作成等を	実施した翌年 ガシー形成に	E度に	目標値	%	_	-	_	50				
	等を行った地域にレガシー形成にの着手率を50%と	向けた取組	た取組の	着手数/実現プラン作成等	可能	達成度	%	-	-	-					
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	観光庁調べ														
活動指標及び		活動	指標				単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込			
活動実績	エデリップ一浩!	+ 14 *-				活動実績	%	-	-	-	-				
(アワトノツト)	キデルツア―浩	〒4生業π						+	·	1		1			

\ ``		,,,	ヒノルノノ 足以口奴	当初見込み	件	-	-	-	-	10
汗香)指標:	D. 7 C	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
滑	対の機の	減い	レガシー形成に関する実現可能性等に係る調査、実現	活動実績	件	-	-	-	-	1,230,721.
	717	,	に向けたプラン作成等を実施した件数	当初見込み	件	-	-	-	-	10
			算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度	医活動見込
単	位当た			単位当たりコスト						
	コスト			計算式	/					
		政策	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保	·強化						
		施策	20 観光立国を推進する							
			定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 年度	目標年度 12 年度
			訪日外国人旅行者数	実績値	万人	3,119	3,188	412	-	
				目標値	万人	-	-	-	-	6,000
政策評			定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標年度 12 年度
価、新			訪日外国人旅行消費額	実績値	兆円	4.5	4.8	0.7	-	
経済・	政		明日八百八加门州关城	目標値	兆円	-	-	-	-	15
財政	策評価	測	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標年度 12 年度
再生計画		定指	地方部での外国人延べ宿泊者数	実績値	万人泊	3,848	4,309	703	-	
圏との関		Tark	20万亩(60万亩入屋、16万亩数	目標値	万人泊	-	-	-	-	13,000
係			定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標年度 12 年度
			外国人リピーター数	実績値	万人	1,938	2,047	293	-	
			// E// / W	目標値	万人	-	-	-	-	3,600
			定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標年度 12 年度
			日本人国内旅行消費額	実績値	兆円	20.5	21.9	9.9	-	
			日下八日17M17内及以	目標値	兆円	-	1	1	ı	22

			事業所管部局による点核	€・改善							
			項目	評価	評価に関する説明						
	事業の目的	 は国民や社会のニー <i>2</i>	でを的確に反映しているか。	0	ポストコロナを見据え中長期滞在者や反復継続した来訪者 などの新たな市場の開拓や、新たに関心の高まっている ニーズの取り込みに万全を期すことは、旅行消費額の増加 や地域振興にも寄与するものであり、国民や社会のニーズ がある。						
国費投入の必要	地方自治体	、民間等に委ねることが	ができない事業なのか。	0	個々の民間事業者等だけで新たな市場の開拓や新たなニーズの取り込みは、特にコロナ禍で多くの事業者が疲弊している現況においてリスクが高いため行われる可能性は低く、また、新型コロナウイルス感染症を契機とした旅行者のニーズの多様化は一地域に留まるものではなく、調査結果や成功事例の横展開まで行うため国が実施する必要がある。						
性	政策目的の 事業か。	達成手段として必要か	つ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い	0	ポストコロナを見据え中長期滞在者や反復継続した来訪者などの新たな市場の開拓や、新たに関心の高まっているニーズの取り込みに万全を期すことは、消費機会の拡大につながり、旅行消費額の増加や地域振興にも寄与するものであることから、政策目的の達成手段として、必要かつ適切な事業であり、優先度は高い。						
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。										
		競争契約、指名競争契 礼又は一者応募となった	約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一 たものはないか。								
		生のない随意契約とな									
事業		負担関係は妥当である									
の効		コスト等の水準は妥当な									
率性			は合理的なものとなっているか。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
			必要なものに限定されているか。 								
			妥当か。(建田を石に記載) 妥当か。(理由を右に記載)								
			女 ヨか。(母田と石) に 戦/ た工夫は行われているか。								
		成果目標に見合ったも									
事業の	事業実施に		去等が考えられる場合、それと比較してより効果								
有効:	活動実績は	見込みに見合ったもの	であるか。								
性	整備された	施設や成果物は十分に	- 活用されているか。								
		業がある場合、他部局 体的な内容を各事業 <i>0</i>	・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役) つ右に記載)								
88	所管府省名	事業番号	事業名								
関連											
事業											
点検・☆	点検結果										
改善結果	改善の 方向性										
			外部有識者の所見	ļ							
			行政事業レビュー推進チー	ムの所見							
	今 て	後、ポストコロナを見振 、ポストコロナの観光立	これで、新たな市場・ニーズの開拓が求められる。そ 「国の実現につなげられるよう、本事業の実施に努	のような! めるべき。	取組みの成功事例を生み出し、横展開を促進することによっ。						

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考
関連する過去のレビューシートの事業番号
製光庁 450百万円 最美等旅費 1.8百万円 本名運輸局等(10機関) 1.8百万円 DMO、地方公共団体、観光 関連事業者・地域住民等 の様々な主体による幅広 い合意形成を促進し、地 域・日本の新たなレガシー 形成を支援 歩託[随意契約(企画競争)] 8.民間企業(〇社) 146百万円 地方運輸局からの委託を 受け、対象地域における実 現可能性等に係る調査、実 の企画・立案等を実施

事業番号 2021 - 国交 - 新22 - 0024

				介	和3年度行		<u>事業</u> 事業レ		2021	- 国交 (2 - 002 交通省)	
事業名	持続可	能な観光推進モ	デル事業	-	IH - 1 / / / 1	J N	担当部		観光庁	`				
事業開始年度	令	和4年度	事業 (予定	終了	終了予定	なし	担当	課室	参事官(外容	子受入)		参事官 輕	部努	
会計区分	一般组	<u></u> 会計												
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	•観光	立国推進基ス	本法第 17	条等			関係計画、		・明日の日本を支える観光ビジョン ・観光立国推進基本計画 ・成長戦略					
主要政策・施策	観光立国						主要	経費	その他の事	項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)									 が国が世界のカ ツーリズムやカー				な観光の推進を	
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	②持続	本版持続可能 可能な観光を サービスを提	実践する	地域人材(の育成・創出		通じた持続	可能な勧	見光地経営のモ ⁻	デル形成				
実施方法	委託•	請負												
				平成	过30年度	2	令和元年原	度	令和2年度	Ę	令和3年度	令和	04年度要求	
	当初予算			-			-		-		-		450	
		補正予	算				-		-		-			
	予算	前年度から	繰越し			-			-					
予算額・	の状況	翌年度へ終	繰越し		-		-		-		-			
執行額 (単位:百万円)		予備費	等		-	-			-	-				
(年位:日2711)		計			0		0		0	0			450	
		執行額			0		0		0					
		執行率(%))		_		-		-					
		予算+補正予算 執行額の割合			_		-		_					
	る Ŧ	歳出予算目		令和3年	度当初予算	令	和4年度要	東求			主な増減理	<u> </u>		
令和3·4年度 予算内訳	í	観光振興調査	費		-		450							
(単位:百万円)		計			-		450							
	定	三量的な成果	目標		成果指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標	目標最終年	
成果目標及び	訪日か	 k行全体の満	足度に				成果実績	%	93.7	94.7	_	-	-	
成果実績 (アウトカム)	ついて	、「大変満足」と回答した。	」又は		足」又は「満足		目標値	%	90	90	90	90	90	
,	人旅行	」と凹合した。 テ者の割合を 掛ける		者の割合	訪日外国人抗	נ ראנ	達成度	%	104	105	-	-	-	
拠として用いた 統計・データ名 (出典)	「訪日 https:/	外国人消費重 //www.mlit.go	协向調査 _. p.jp/kank] ocho/siry	ou/toukei/sy	ouhity/	yousa.htm	l			•			

動技	指標2	をび	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込		
活	助実制	責	本事業において支援を行った地域数	活動実績	箇所	-	-	-	-			
			个于末1⊂630°(又]及ē1] 刀(上地以双	当初見込み	箇所	-	-	-	-	100		
			算出根拠	単位当たり	単位		令和元年度		3年度	活動見込		
	と当た コスト	:4)	+ L < = ☆〒 / → - ↓57 - - - - - - - -	コスト	円	_	-	-		_		
	••••		執行額/支援地域数	計算式	百万円/件 数	-	-	-		-		
		政策	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保	⊹強化								
		施策	施策 20 観光立国を推進する									
					定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標	目標年原 12 年
			訪日外国人旅行者数	実績値	万人	3,119	3,188	412	-	412		
			即日八日八小日五	目標値	万人	-	-	-	-	6,000		
			定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標	目標年原 12 年		
			訪日外国人旅行消費額	実績値	兆円	4.5	4.8	0.7	-	0.7		
	政策評	測定指	B) F) F F F F F F F F F F F F F F F F F	目標値	兆円	-	-	-	-	15		
	価	握	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標	12 年		
			地方部での外国人延べ宿泊者数	実績値	万人泊	3,848	3,921	703	-	703		
				目標値	万人泊	-	-	-	-	13,000		
			定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標	12 年		
			外国人リピーター数	実績値	万人	1,938	2,047	293	-	293		
				目標値	万人	-	-	-	-	3,600		

本事業により、訪日外国人の受入環境が向上し、訪日外国人旅行者数やリピーター数の増加、及びそれに伴う旅行消費額や地方部での外国人延 べ宿泊者数の増加が期待できることから、施策目標である「観光立国を推進する」に寄与する。

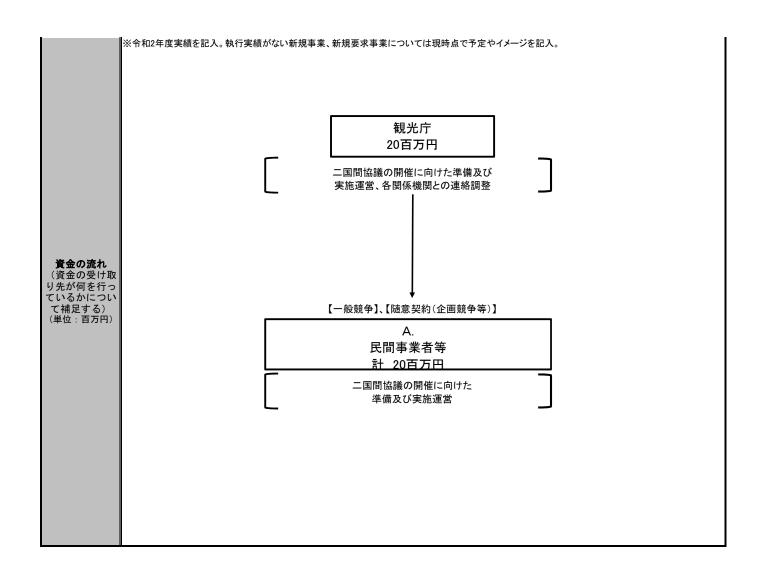
			事業所管部局による点核	è∙改善	
			項 目	評価	評価に関する説明
芬	事業の目的	は国民や社会 <i>のニース</i>	ぐを的確に反映しているか。	0	世界的に「持続可能な観光」への関心が高まる中、我が国が世界の旅行者から選ばれる観光地となるよう、オーバーツーリズムやカーボンニュートラルにも対応した持続可能な観光に係る取組を全国的に展開する必要がある。
入の必要性			ができない事業なのか。	0	世界的に「持続可能な観光」への関心が高まる中、自治体などが参考とすることができる事例が求められているため、国が地域を選定してモデル事業を行うことで様々な事例の蓄積やその横展開を図ることが可能となる。
	政策目的の: 事業か。	達成手段として必要か	つ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い	0	同上
	競争性が確	保されているなど支出	先の選定は妥当か。		
		競争契約、指名競争契 し又は一者応募となっ	約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一 たものはないか。		
	競争性	性のない随意契約とな	ったものはないか。		
事業	受益者との負	負担関係は妥当である	か。		
不の効	単位当たり〓	コスト等の水準は妥当な	jv°		
率性	資金の流れ	の中間段階での支出に	は合理的なものとなっているか。		
1±	費目・使途か	「事業目的に即し真に	必要なものに限定されているか。		
	不用率が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)		
	繰越額が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)		
	その他コスト	削減や効率化に向け	た工夫は行われているか。		
事	成果実績は	成果目標に見合ったも	のとなっているか。		
業の有		当たって他の手段・方法 氏コストで実施できてい	去等が考えられる場合、それと比較してより効果 るか。		
効性	活動実績は	見込みに見合ったもの	であるか。		
吐	整備されたカ	施設や成果物は十分に	活用されているか。		
	関連する事業 割分担の具	業がある場合、他部局 体的な内容を各事業 <i>0</i>	・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役)右に記載)		
	所管府省名	事業番号	事業名		
関連					
事業					
.,.					

点検	点検結り	
·改善結果	改善の	
果	方向性	
		外部有識者の所見
	ļ	行政事業レビュー推進チームの所見
		持続可能な観光地経営のモデル形成を効果的かつ効率的に進められるよう、事業を適切に実施すべき。
		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況
		備考
		関連する過去のレビューシートの事業番号
令和2	2年度	関連する週去のレビューシートの季果番号
(資: り先: てい: て補	金の流れ けれ の のので の何をに で で で で で で で で で で で で で	A. 氏间近耒寺

			全	和3年度行		事業番		2021	- 国交 (22 - 002 交通省	2.0)	
事業名	二国間	の連携強化に向けた会	•	IH - 1 /2 1	1-7	担当部		観光庁	\			成責任	 者	
事業開始年度	令		業終了 定)年度	終了予定	なし	担当	課室	国際観光課	:		課長	輪田	 優子	
会計区分	一般:	<u> </u>	足/ 千皮											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	観光3	立国推進基本法第1	8条			関係計画、	する 通知等	等 観光立国推進基本計画						
Ξ要政策∙施策	観光	立国				主要	経費	その他の事	項経費					
事業の目的 目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	に取り 観光3	コロナウイルス感染症(組み、政府主導で観え を流再開や促進、観光	光交流の再り 振興につなり	₹を推進する必 ずる。	要があ	あることから	、各国	・地域の政府間で	で協議を行うこ	とで、双方の	連携強化•深·	化を図り	、我が国	
事業概要 (5行程度以 内。別添可)		を行者数の多くを占めた た人口の拡大等をテー				光当局間に	おいて	、観光交流再開	に向けた課題	解決やポスト	コロナの国際	観光のな	あり方、相	
実施方法	直接到	実施、委託・請負												
			平成	以30年度	4	令和元年度	支	令和2年度	ŧ	令和3年度	令	和4年度	要求	
		当初予算		_		-		-		-	2			
		補正予算		-		-		-		-				
	予算	前年度から繰越し	•	-		-		-		-		-		
予算額・	の状況	翌年度へ繰越し		-		-		-		-				
執行額 (単位:百万円)	""	予備費等		_		-		-		-				
(年位:日万门)		計		0		0		0		0		20		
		執行額												
		——————————— 執行率(%)		-		-		_						
		予算+補正予算に対す	f			_								
	る	執行額の割合(%) 歳出予算目	会和3年				ì和4年度要求		主な増減球			##		
令和3・4年度			II TOUT	令和3年度当初予算 令						工场相侧在	ш			
予算内訳 単位:百万円)				_		20								
		<u>計</u>		_		20					中間目標	日煙	最終年月	
成果目標及び	5	定量的な成果目標		成果指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	- 年度		年度	
成果実績	会議等	等の開催により関係				成果実績	万人	. 3,119	3,188	412	-		-	
(アウトカム)	国との	D観光交流の増大に する。	訪日外国	国人旅行者数		目標値	万人	4,000	4,000	4,000	-		6,000	
						達成度	%	78	79.7	10.3 –			-	
拠として用いた 統計・データ名 (出典)		政府観光局(JNTO)	訪日外客網	钴										
	5	定量的な成果目標		成果指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標		最終年月 年度	
成果目標及び 成果実績	△諡⁴	等の開催により関係				成果実績	兆円	4.5	4.8	0.7	-		-	
(アウトカム)	国との	の観光交流の増大に	訪日外国	国人旅行消費	額	目標値	兆円	l 8	8	8	-		15	
	貢献で	する。				達成度	%	56.3	60	8.8	-		-	
拠として用いた 充計・データ名 (出典)		宁 訪日外国人消費	動向調査					•		•	•			

			活動指標		単位	平成:	の年度	令和元年度	会和2年度	3年度	4年度	
	指標動実		/U 3/J 10 17K	活動実績	口	1 /200	- -			活動見込	活動見込	
(ア	ナトプ	ット)	二国間協議の実施	当初見込み			_	_	_	_	7	
			算出根拠		単位	平成	30年度	令和元年度	令和2年度	3年度	医活動見込	
単	位当だ	<u>-</u> 6)		単位当たりコスト	百万円	9	-	-	-		-	
	コスト		要求額 / 開催会議の件数	計算式	百万円/帕	百万円/件			-		-	
政策評		政策	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・	·強化								
価、新経済	政策	施策	20 観光立国を推進する									
の関係財	策評価	測	定量的指標		単位	平成	30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標	目標年度 12 年度	
政再生		定指	訪日外国人旅行者数	実績値	万人	3,	119	3,188	412	-	-	
計画		14		目標値	万人	4,0	000	4,000	4,000	-	6,000	
			事業所管部	が局によ.	る点検	-改善						
			項 目			評価			評価に関	する説明		
Ħ	事業(の目的	は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			早期の国際観光再開のためには、政府が主導に向けた課題解決に取り組み等について、二目い、連携を強化していくことは不可欠であり、現ニーズを反映していると言える。					二国間協議を行	
国費投入の必	地方	自治体	、民間等に委ねることができない事業なのか。		本事業で開催する会議は、まず政府主導で協議を 道をつくり、その影響を国内の自治体や観光業界 波及させることを目指すものであるため、国が積極 すべき事業である。					光業界事業者に		
要性	政策		達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で	優先度の	高い	0	状態でいる域と協	であり、これま る。今後見込き	で構築される国際観え流を復活さ	てきたネットワ!光の再開に! せていくことだ	見光交流は断絶 一クが希薄化し 向けて、各国・地 が急務であること	
	競争怕	生が確	保されているなど支出先の選定は妥当か。									
			競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による 礼又は一者応募となったものはないか。	支出のう	ち、一							
		競争怕	生のない随意契約となったものはないか。									
事業	受益	者との1	負担関係は妥当であるか。									
の効	単位	当たり	コスト等の水準は妥当か。									
率性	資金(の流れ	の中間段階での支出は合理的なものとなっているか。									
注	費目·	使途だ	が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。									
	不用	率が大	きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)									
	繰越額	額が大	きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)									
	そのイ	也コスト	削減や効率化に向けた工夫は行われているか。									

事	成果実績に	は成果目標に見合った	ものとなっているか。								
業の	事業実施に	当たって他の手段・方 低コストで実施できて	方法等が考えられる場合、それと比較してより効果 いるか。								
有効	活動実績に	は見込みに見合ったもの	のであるか 。								
性											
	関連する事 割分担の身	業がある場合、他部原 集体的な内容を各事業	引・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役 の右に記載)								
	所管府省名	事業番号	事業名								
関連事業											
点検・改	点検結果										
善結果	改善の 方向性										
			外部有識者の所見								
			行政事業レビュー推進チー』	, o = =							
	1		17収争来レビュー推進アープ	ムの所見							
			新型コロナウイルス感染症の影響により希薄化したそ 内な事業執行に努めることに留意しつつ、事業を適切	各国とのネットワークを再構築するために重要なものであることから、計 川に実施すべき。							
			所見を踏まえた改善点/概算要求に	おける反映状況							
			74444.								
			備考								
			備考								
			備考 関連する過去のレビューシートの)事業番号							
平成2	22年度			D事業番号							
	22年度			D事業番号							
平成2				D事業番号							
平成2 平成2 平成2	23年度 24年度 25年度			D事業番号							
平成2 平成2 平成2 平成2	23年度 24年度 25年度 26年度			9事業番号							
平成2 平成2 平成2 平成2 平成2	23年度 24年度 25年度 26年度 27年度			D事業番号							
平成2 平成2 平成2 平成2 平成2 平成2	23年度 24年度 25年度 26年度 27年度			D事業番号							
平成2 平成2 平成2 平成2 平成2 平成2 平成2	23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度			D事業番号							
平成2 平成2 平成2 平成2 平成2 平成2 平成2 平成2	23年度 24年度 25年度 26年度 27年度			D事業番号							



		A.			B.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。変方で実情が 分かるように記						
おいてブロックごとに最大の金額						
が支出されている者について記載						
する。費目と使途の双方で実情が						
分かるように記載)						
車以)						
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1							

事業番号 2021 - 国交 - 新22 - 0026

				A 1	いった 中々		₱ 表		2021	- 国父	10.1	2 - UU2 でまル	· \		
	国際細	- 光旅安部た江	田した トロ		山3年度 行 比施策の展開				ーシート	(交通省)		
事業名		完成各税を活 客税財源充当	事業)		ルルルベン放用	、四你	担当音	吊庁	観光庁			作月	戊責任者		
事業開始年度	令	和4年度	事業 (予定	終了 !) 年度	終了予定7	なし	担当	課室	総務課			課長 舟本	浩		
会計区分	一般名	会計													
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		立国推進基本 現光振興法1		:		関係計画、		観光ビジョ 経済財政選 成長戦略			グラム				
主要政策·施策	観光』	立国、地方創	生				主要	経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	め、政	府一丸、官民	を挙げて耳	ジョン」においては、2020年訪日外国人数4,000万人、2030年6,000万人等の大きな目標を掲げ、「観光先進国」の実現取り組むこととされているところ、観光促進のための税として平成31年1月7日から創設された国際観光旅客税をよりãって、観光立国実現に向けた観光基盤の拡充・強化を図る。											
	国際観光旅客税の使途に関する基本方針等について(令境の整備、2. 我が国の多様な魅力に関する情報の入手(満足度向上、という3分野への財源を充当する。その際、長られること、2. 先進性が高く費用対効果が高い取り組みて3つの考え方を基本とした施策を対象とし、観光庁主導の(観光戦略実行推進会議決定に基づき、観光財源を充当なっている)					手の容 、既存 みであ の下、	易化、3. 施策の財 施策の財 ること、3. 各省各庁	地域固存源の単な 地方創生 地方創生 等の関係	の文化、自然なる穴埋めをする とないではいとする はといいとする 機関が連携して	等を活用した るのではなく、 る我が国が直面 て事業を推進す	現光資源の整例 1. 受益と負担 面する重要な呼 ける。	備等による地域の関係から負 の関係から負 対策課題に合致	或での観光体験の 担者の納得が得 致すること、という		
実施方法	委託·請負、補助、負担、交付														
				平成	30年度	ŕ	令和元年原	臣	令和2年原	Ę ,	令和3年度	令和	04年度要求		
		当初予	予算										24,000		
		補正う													
	予算の状	前年度から													
予算額・	況	翌年度へ													
執行額 (単位:百万円)		予備費 ———	養等 ————												
	計				0		0		0		0		24,000		
		執行額													
		執行率(%			_		-		-						
		予算+補正予 執行額の割合			-		-		-			7			
		歳出予算		令和3年	度当初予算	令	令和4年度要求				主な増減理	#			
		(目未定経	費)				24,000		-						
令和3·4年度 予算内訳															
(単位:百万円)															
		計			0		24,000								
												中間目標	目標最終年度		
	元	2量的な成果	:目標		成果指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	年度	12 年度		
成果目標及び 成果実績							成果実績	万人	3,119	3,188	412	-	-		
(アウトカム)		ト国人旅行者 達成(2030年		訪日外国	人旅行者数		目標値	万人	-	-	-	-	6,000		
							達成度	%	78	79.7	10.3	-	-		
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	- 「訪日外客数」 出典:独立行政法人 国際観光振興機構 https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/data_info_listing/in					府観光	局/JNTO)								
******	元	定量的な成果	·目標 		成果指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標最終年度		
成果目標及び 成果実績							成果実績	兆円	4.5	4.8	0.7	_	_		
(アウトカム)		ト国人旅行消 達成(2030年		訪日外国	人旅行消費	額	目標値	兆円	-	-	_	-	15		
	L		· 				達成度	%	56.3	60	8.8	_	-		
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	「訪日	外国人消費	動向調査	」出典:		/www.	.mlit.go.jp/	′kankoc	ho/siryou/tou	kei/syouhityo	ousa.html				
	_	2.早.4.1.代田	п.ж		元田北 梅			W /.I	T - 1500 15 - 15	A	^ T	中間目標	目標最終年度		

			た里りな水木口1赤	八不1日1示	/	干四	〒 玖○○十 又	ᄁᄱᄼᆉᅜ	77 作4 十/文	年度	12 年度		
月	【目標 【果実	牘	地方部での外国人延べ宿		成果実績	万人泊	3,848	4,309	703	-	-		
成果実績(アウトカム)			泊者数13,000万人泊達成 (2030年)	地方部での外国人のべ宿 泊者数	目標値	万人泊	-	_	_	-	13,000		
			(20304)		達成度	%	55	61.6	10	-	_		
統計	として F ・デー (出典)	タ名	「宿泊旅行統計調査」 出典 : 観光庁 http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html										
			定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標最終年度		
成果目標及び成果実績					成果実績	万人	1,938	2,047	293	-	-		
以来失模(アウトカム)			訪日外国人リピーター数 3,600万人達成(2030年)	訪日外国人リピーター数	目標値	万人	-	-	_	-	3,600		
					達成度	%	80.8	85.3	12.2	-	-		
統計	として F ・デー (出典)	タ名	「訪日外国人消費動向調査	」出典:観光庁 http://www	.mlit.go.jp/	[/] kankocho	o/siryou/touk	kei/syouhityo	ousa.html				
			活動	指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込		
活動指標及び 活動実績			事業内容については、観光	活動実績	-	-	-	-	-	-			
(ア	ウトプ・	ット)	て、民間有識者の意見を踏 検討を行うとされていること び活動実績を記載すること	当初見込み	-	-	-	-	-	-			
			算出		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度	E活動見込			
単	位当た			単位当たりコスト	-	-	-	-		-			
コスト			,		計算式	/	-	-	-	-			
		施策	布策 20 観光立国を推進する										
			定量的	的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標年度 12 年度		
政策			訪日外国人旅行者数		実績値	万人	3,119	3,188	412	-	-		
評価					目標値	万人	-	-	-	-	6,000		
新経			定量的	的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標年度 12 年度		
経済・財 ₁	政策評		訪日外国人旅行消費額		実績値	兆円	4.5	4.8	0.7	-	-		
財政再生計	価	測定指	MANIA MARIA MARIA		目標値	兆円	-	-	-	-	15		
計画と		指標	定量	的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標年度 12 年度		
の関係				r de de	実績値	万人泊	3,848	4,309	703	-	-		
PR .			地方部での外国人延べ宿泊 	地方部での外国人延べ宿泊者数		万人泊	-	-	-	-	13,000		
			定量	的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標年度		
			外国人リピーター数		実績値	万人	1,938	2,047	293	_	-		
					目標値	万人				1			

			事業所管部局による点核	è·改善	
			項 目	評価	評価に関する説明
国費投入	事業の目的	は国民や社会のニース	でを的確に反映しているか。		2020年訪日外国人数4,000万人、2030年6,000万人等の大きな目標を掲げ、これらの確実な達成のためには、今後さらに増加する観光需要に対し、恒久的な財源である国際観光旅客税をより高次元な観光施策に充当し、観光立国実現に向けた観光基盤の拡充・強化を図る必要がある。
の必要性	地方自治体	、民間等に委ねること	ができない事業なのか。		受益と負担の関係を明確化し、予算の整合性の確保等を図る観点から、観光財源を充当する具体的な施策・事業について、観光庁に一括計上した上で、関係省庁に移し替えて執行する必要がある。
	政策目的の 事業か。	達成手段として必要か	つ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い		同上
		保されているなど支出	先の選定は妥当か。	-	
		競争契約、指名競争契 札又は一者応募となっ	約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一 たものはないか。		
		生のない随意契約とな			
事業		負担関係は妥当である		-	-
の効		コスト等の水準は妥当		-	-
率性			ま合理的なものとなっているか。 	-	-
			必要なものに限定されているか。	-	-
			妥当か。(理由を右に記載)	-	-
			妥当か。(理由を右に記載)	-	-
		○削減で効率にに向け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た工夫は行われているか。	_	-
事業			いとなっているか。 	-	
		低コストで実施できてい		-	-
効 性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-	-
				-	-
	関連する事 割分担の具	業がある場合、他部局 体的な内容を各事業の	・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役 D右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名	1	
関連					
事業					-
					-
					1
<u>.</u>					
点検	点検結果				
改					
善結果	改善の 方向性				
木)) I+J II				
			外部有識者の所見	Į.	
			<u> </u>	1.0~	
	<u> </u>		行政事業レビュー推進チー	ムの所、	兄
			いては、観光戦略実行推進会議において、民間有詞 観光旅客税が無駄なく活用される事業とすべき。	識者の意	見を踏まえつつ、予算編成過程で検討を進めていくこととなる
	<u> </u>		所見を踏まえた改善点/概算要求に	こおける	反映状況

		備考		
		関連する過去のレビューシートの	事業番号	
平成22年度 -				
平成23年度 -				
平成24年度 -				
平成25年度 -				
平成26年度 -				
平成27年度 -				
平成28年度 -				
平成29年度 -				
平成30年度 -				
令和元年度				
令和2年度	※令和2年度実績を記入。執行	 実績がない新規事業、新規要求事業については野		
資金の流れ (資金の受を行い、ででは、 (単位: 百万円)		移し替え B. 〇〇府省庁 (P百万円)	A. 〇〇事業者等 (P百万円)	